

WWLコンソーシアム構築支援事業
令和5年度 成果報告会

WWL
SNOW CRYSTAL PROJECT IN HOKKAIDO
成果報告

令和3年度指定 管理機関 学校法人北海学園 カリキュラム開発拠点校 北海学園札幌高等学校

1. ご紹介 当コンソーシアムについて

Snow Crystal Project in HOKKAIDO

▶ 目的

広大な大地「北海道」の全地域においてSDGsに取り組んでいる高等学校と海外の高等学校、大学、関連する機関を繋ぎ「**北海道広域ALネットワーク**」を形成し、組織的・継続的に持続可能な世界を実現し、Society5.0を牽引するグローバルリーダーを育成する。今年までのSGH事業の研究 成果をベースに、連携校の多様な視点と実践を活かし、距離と時間を克服するためICTを活用した新たな科目を開講する。また、専門的で先進的な技術を有する系列大学や連携機関の指導助言により、教育カリキュラムを進化させる。さらに、**北海道が誇る農業と食、民族や領土問題、寒冷地における住まいと環境、外国人を支える医療支援ネットワークの構築**などを探求課題とさせ、北海道に根ざした「グローバルリーダー」育成モデルの確立と広域ネットワーク(S.C.P)の拡充を図り、全国へと発信する。

▶ 連携協働機関 19 (大学9) 連携高等学校16

2. ご紹介 北海学園札幌高等学校について

創立 1920年 2020年に創立100周年

全日制普通科 3年生10クラス 2年生10クラス 1年生13クラス 1254名在籍

- ・特進コース
- ・グローバルコース
- ・メディカルプレップコース
- ・総進コース

学校法人北海学園 北海学園大学 北海商科大学 北海高校 北海学園札幌高等学校

教育目標 21世紀の国際社会に生きるリーダーの育成

3. 取組事例①

GLOBAL VILLAGE 2023

- ①1年生全員参加
- ②地球市民的視点をもつことの大切さ
- ③SDGs の概念を学ぶ
- ④多文化共生の大切さを学ぶ
- ⑤運営指導委員長 北海道大学大学院 山中康裕教授による
SDGs特別講義「2050年の世界のために私たちができること」
- ⑥30名の北海道大学外国人留学生による協力
- ⑦栗山町におけるSDGs（農業・食・環境・仕事）フィールドワーク
- ⑧南富良野町におけるアクティビティ

成果

- ①Gコース・MPコースへの進級意識
- ②国際関係学・工学・農学志望生徒・受験における実績活用
- ③WWL・・・と名付けられた諸活動への積極参加
- ④台湾の大学志望



4. 取組事例②

『住みつづけられるまちづくり×農業』

- ①運営指導委員 酪農学園大学 飛谷淳一准教授監修
- ②畑づくり・管理（トマト・きゅうり・かぼちゃ）
- ③学校祭において地域の方々に販売し、売上金をカンボジアへ
3年国際協力実行委員会とタイアップ（ハンドメイドアクセサリー販売
をカンボジアへ）
- ④150名の生徒による当番制での畑管理（4月～10月）
- ⑤酪農学園大学 飛谷ゼミ学生による実技指導・助言

効果

- ①部活動に取り組む意識と同等の心・ここ3年で3倍増の参加者
- ②カンボジアという国への興味関心
- ③学年を越えた生徒相互の協働意識
- ④農・食分野への進学
- ⑤総合選抜入試におけるPR（活動実績証明書等）
- ⑥大学との連携による相乗効果



5. 取組事例③ 北海道白老東高等学校PRESENTS 『歴史とSDGsをつなぐ』

- ①SDGs10不平等をなくそう SDGs11まちづくりがテーマ
- ②北海道白老東高等学校が主管。北海学園札幌高等学校生約30名が参加。
- ③民族共生象徴空間ウポポイにおける探究活動
アイヌ舞踊と衣・生活（用具・住居・研究者知里氏・芸術）
- ④アイヌの食文化オハウ
- ⑤北海道白老東高等学校教諭・生徒によるガイド（仙台藩元陣屋資料館での北方警備の歴史探究）
- ⑥生徒間交流

効果

- ①両校生徒協働しながらの交流による意欲の高まり
- ②アイヌ文化の再考
- ③他のアイヌ関連の学習機会への参加
- ④部活動生徒による探究成果発表（弁論大会・プレゼンコンテスト）



6. 取組事例④

GLOBAL SUMMER CAMP 2023

- ①SDGsをテーマに多文化共生を考える
- ②運営指導委員長 山中康裕 北海道大学大学院教授によるSDGs特別講義
- ③北星学園大学短期大学部 マシュー コッター 准教授によるマオリとアイヌ 比較文化特別講義
- ④3つの選択講座 1.マイクロプラスチック 2.アップサイクル 3.OB・OG3名 による海外留学・海外勤務・海外生活
- ⑤講義をふまえたワークショップ
- ⑥30名の北海道大学外国人留学生がファシリテーター
- ⑦岩田地崎建設株式会社 上村英史氏 による北国の建設に関する講義
- ⑧N.Z協会・バーバリアンズによるジェンダーを意識した健康づくり（スポーツ）
- ⑨日本の伝統を留学生に発信する機会（相撲・茶道）
- ⑩拠点校と連携校とで250名参加

【効果】

- ①外国人との交流による国際理解の意識
- ②語学力を高めたい心の醸成
- ③多方面の教材にふれ、向学心や他のWWL活動への参加意識が高まる
- ④生徒間の協働意識の高まり
- ⑤国際関係学の進路



7. 取組事例⑤

北海道平取高等学校PRESENTS

『探究！アイヌの生活・文化』

- ①北海道平取高等学校が主管校
- ②平取町立二風谷アイヌ文化博物館見学
- ③平取町教育委員会 アイヌ語講師 関根健司 先生による講義
- ④北海道平取高等学校生と北海学園札幌高等学校生徒合同ワークショップ
- ⑤イメージ・アイディア マップ作成
- ⑥二風谷ダム建設の歴史を学ぶ（ダム見学・沙流川歴史館見学）

効果

- ①白老町におけるアイヌ学習との比較による興味関心の高まり
- ②生徒間交流による有意義な人間関係の構築とその継続
- ③北海道史を学ぶことが進路目標
- ④二風谷の貴重な文化にふれた経験をテーマとしたプレゼンづくり
- ⑤アイヌ文化振興財団のイベントに参加する生徒
- ⑥アイヌの食、アイヌの衣装への強い関心
- ⑦文学・文化学分野への進学意識の高まり



8. 取組事例⑥ ENGINEERING LAB～工学の世界～

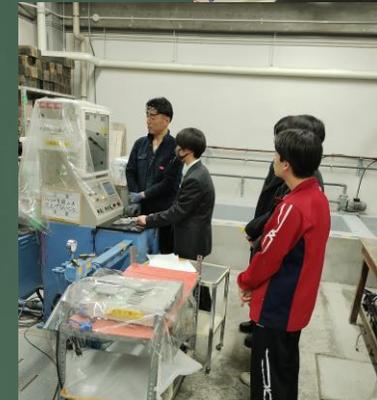
① 4 講座のうちから 1 つを選択し、3ヶ月にわたって北海学園大学工学部において講義と実習・実験を行う。

- ・ SDGs11関連 社会基盤構造物に用いられる鉄筋コンクリートとは
- ・ SDGs11関連 北海道で建築物を末永く使用していくための方法を学ぶ
- ・ SDGs4 SDGs9 数学の定理を証明するAIの仕組みと応用
- ・ SDGs3 酵素による手軽な健康モニタリングの実現を目指す

② オンラインによる学習活動

効果

- ①大学の学びを先取りすることによる学問研究への興味関心の高まり
- ②部活動に取り組む意識と同等の意識の高まりと向学心の高まり
- ③大学入試における自己PR材料
- ④共に学ぶ生徒間の有意義な人間関係の構築



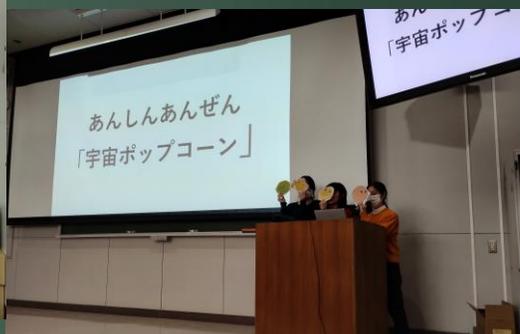
9. 取組事例⑦

GLOBAL DAY 2023 年間探究活動発表会

- ①ALネットワーク連絡調整会議・運営指導委員会・検証委員会実施
- ②事業連携校生徒による発表
- ③事業拠点校生徒による発表
- ④オンラインによる事業連携校生徒・自発参加生徒による発表
- ⑤運営指導委員・検証委員・事業協働機関による講評
- ⑥オンラインによる講評

効果

- ①プレゼンテーション
- ②複数の高校の生徒のプレゼンにふれることによる自己のふりかえりといっそうの探究意識の高まり
- ③当事業を知り、新規参加
- ④ハイレベルなプレゼンへの感動と競争心の芽生え



最後に

1. その他の取組事例

- ・フードロス削減の学び 札幌保健医療大学との連携事業 講義と実習と畑作業
- ・北方領土問題を学ぶ 北海道根室高等学校が主管校 ICT活用
- ・ポートランド研修旅行（拠点校2年Gコース）
- ・シンガポール研修旅行（拠点校Gコース以外は基本、沖縄だが、希望生徒40名が参加可能）
- ・台湾語学・文化研修（拠点校希望生徒） コンコーディアミドル&ハイスクール
- ・ウェリントン研修（中期・短期） 法人内連携校との合同事業
- ・ハンガーゼロ
- ・English Support Lounge 北海学園大学教職課程との連携
- ・持続可能な世界 北海道高校生コンテストへの参加
- ・学校設定科目 Academic English プレゼンテーション 中国語 韓国語
- ・総合的な探究の時間SDGs Beginningと多くの体験型学習イベントとの連携
（教室での学習・ICT活用による学習・体験型学習機会への参加・教室でのまとめプレゼン）

2. 高校生国際会議2024開催予定 12月12日（木）・12月13日（金）

3. 全体を通じての課題

- ①連携校と交流しながら協働していく機会を最大限継続し、これを特色の1つとしたい。
- ②公私立高校間の交流という点でも今後も良い関係を継続したい。
- ③財政面での裏付けがある「自走」の整備が急務。



ご清聴 ありがとうございます。
Thank you very much for listening to our report.

WWL SNOW CRYSTAL PROJECT IN HOKKAIDO

管理機関 学校法人北海学園 カリキュラム開発拠点校 北海学園札幌高等学校